

Q: スペル「エア・ブレード」と、攻撃の【攻撃力】を上昇させるスペルを同時に使用した場合、「エア・ブレード」の【攻撃力】が【行動値】に等しくなる効果と【攻撃力】の上昇のどちらが先に適用されますか？

A: これら2つは、双方ともスペルの効果であるため、使用者が適用順を選択することができます。大抵の場合、「エア・ブレード」を先に適用して、【行動値】の値にさらに【攻撃力】上昇の効果を加えることが選択されるでしょう。ただし、《攻撃力+n》などの特殊効果は元々の値自体を書き換えるため、スペルの効果より先に適用されます。すなわち、「エア・ブレード」を使用した攻撃では、《攻撃力+n》の恩恵を受けることはできません。

これらの処理は、【攻撃力】の値を用いて防御するスペル「パリィング」などについても同様です。

Q: スペル「壊術の呪法」で失う「一時マナ」は誰が選択しますか？

A: 「一時マナ」も、それを得る時、失う時の扱いはマナ・スフィアに格納されている「マナ」に準じます(→『基本ルールブック』p.20)。

ですので、単に「一時マナを失う」と記載されているこの場合は、一時マナを失うキャラクターがどの一時マナを失うのか選択します。また、一時マナを持たない状態でこの効果を受けた場合、足りない一時マナ1つにつき【LP】1点を失います。

Q: ポスエネミーが対象の範囲の異なるスペルを組み合わせた場合、攻撃の対象はどうなりますか？

A: 特に記載がない限り、範囲の広い方が適用されます。

例えば、特に記載がない(1人のPCのみを対象とする)スペルと、「PC全員を対象とする」と記載されたスペルを組み合わせた場合、前者の効果もPC全員に対して発揮されます。また、特定条件をとるスペルの場合、その範囲は合算されます。例えば、『学舎の記録簿』p.24記載のポスエネミー「トラップフラワー」で発生しうるように、「行動順が奇数のPC全員を対象とする」スペルと「行動順が偶数のPC全員を対象とする」スペルが組み合わせられた場合、どちらか一方でも満たしている者(つまり、実質PC全員)が対象となり、両方の効果を受けます。
